

# ビデオ・新たな世界——そのメディアの可能性展

## 1992年1月3日(水)→1月25日(水)

【開館時間】10:00A.M.→6:30P.M.(ただし入場は6:00P.M.まで)

【休館日】木曜日

【入場料】一般500(400)円/高・大生300(200)円/小・中生100(50)円  
( )内は20名以上の団体料金

### ①回顧

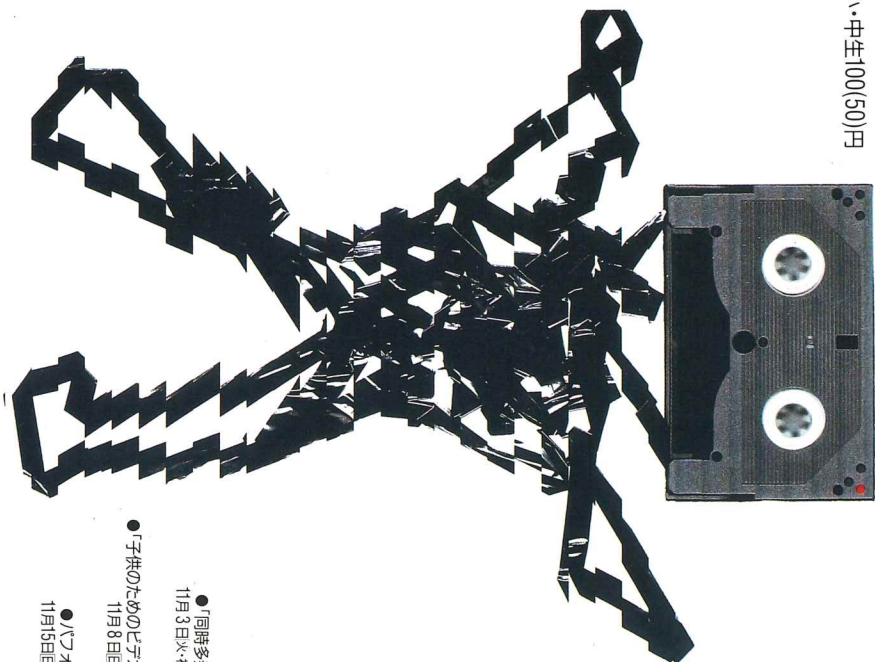
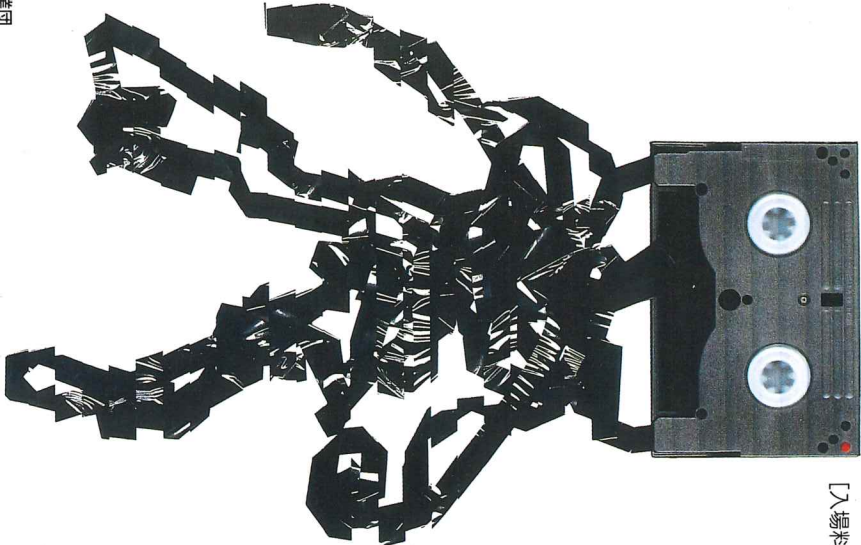
安藤敏平	河口龍夫
飯村隆彦	木下佳通代
出光真子	黒崎 彰
小森はくじろ	野村 仁
谷川俊太郎	松本正司
寺山修司	村上三郎
中井恒夫	米津茂英
中島 興	●
中谷芙二子	榎倉康二
萩原朝美	川村悦郎
松本俊夫	倉重光則
山口勝弘	小本 章
●	高見沢文雄
今井祝雄	保科豊巳
植松幸三	堀 浩哉
郭 徳俊	和田守弘

### ②ホームビデオ

東京ビデオフェスティバル  
ビデオホエムコンテスト  
入選作より

### ③新作・プロジェクト

IKIF  
石田英範  
大塚 淳  
屋間行雄  
松村泰三  
(以上、各展とも50面額)



### ④関連企画

●「同時多発クッキング」  
11月3日(水) 1:00→4:00P.M.  
加藤 到

●「子供のためのビデオクッキング」  
11月8日(日) 2:00→4:00P.M.  
IKIF

●「ビデオダンス&トーク」  
11月15日(日) 2:00→4:00P.M.  
谷川俊太郎  
榎かつこのり

●「ビデオというメディアの可能性」  
11月21日(土) 2:00→4:00P.M.  
森部祥倫  
たにあらた

# 美術館

(物)品川文化振興事業団

アート・スペース  
河出書房新社

【協賛】  
ソニー株式会社  
ビクター株式会社  
株日立製作所  
ミックシヤパン株式会社  
【協力】

東京港区同区大崎1-6-7 大崎二丁目2番地  
TEL. 3455-4011 JPNL手帳大崎駅前地下車道徒歩1分

# 【ビデオ・新たな世界——そのメディアアの可能性展】

現代の日本では、ビデオはソノラル・ビデオ等によってソノラルは日常的に浸透し、また家庭での極めて手軽な記録媒体として、一般にかなりの普及をみせています。このような状況のたわらで、いわゆるビデオ・アートは様々なコンピュータ・エレクトロの処理により、ますます精巧で複雑な表現をみせています。かたしなから、アートが作家を上回りあたたかも技術のソノラルのように、類型的なものに陥りがちです。このように、一方でのビデオ文化の浸透のたわらで、「ビデオ・アート」はいきつまりをみせ、またメディアアとしては、ハイビジョンのように高画質化を遂げながら、広くソノラル・メディアアの中に吸収されています。

本展では、あえて一般的な「ビデオ・アート」展の体裁をとることなく、むしろ多様な可能性を孕んでいたビデオというメディアアからその後ろを押し進め、また何を捨て去って、今日その表現があるのかを考えようとするものです。

まず(1)回顧では、様々な方向への実験性に富んでいた、60年代後半から70年代までの、ほとんど見る機会のない、いわゆる日本の初期ビデオ作品や、当時現代美術の作家が試みた、ビデオを用いた表現活動を紹介します。そこでは現在の我々の

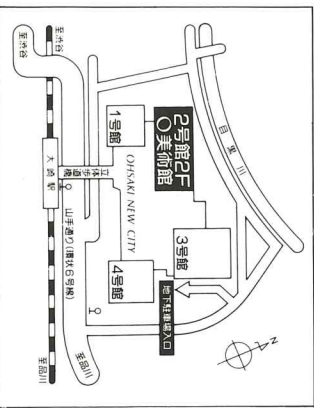
忘れていたビデオによる表現の広がりや再び気付かせてくれるでしょう。

また(2)ホームビデオでは、ビデオという最も日常的で身近なメディアアを利用して、素朴ながらも時に奔放なまでの表現を我々にみせつけるビデオ・アーティストのバブルの入賞作や、一般の人々が会期中に制作したビデオを上映します。そこでは、アートの概念をも超えた特異なコミュニケーション媒体としてのビデオがそこでは初々しくいきついています。

さらに(3)新作・プロジェクトでは、いわゆる既存の「ビデオ・アート」以外の、広く映像、メディアア・アートにつき考えている作家たちが、観客参加型の作品やプロジェクトのかたちなどで新たな制作・プロジェクトを試みます。これまでの「ビデオ・アート」とは異なる自由なメディアアへのアプローチを期待したいと思えます。

本展はこのような、多様なビデオへのアプローチを見せる作品の他、会期中、ワークショップ、シンポジウム等も含め、閉塞的なビデオへの刺激を通して、その表現の今後をあらためて考えようとするものです。

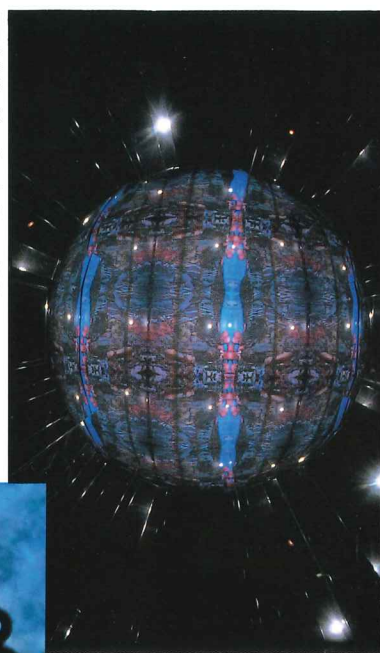
## ○美術館ご案内



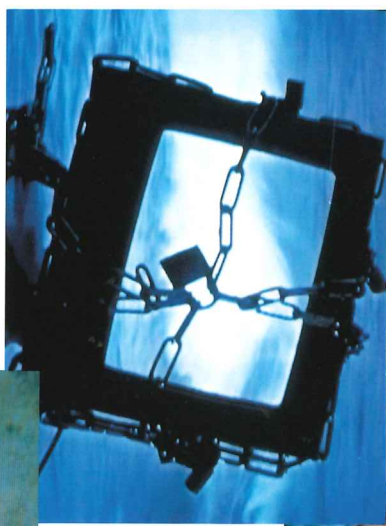
- 交通  
山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分  
東急バス(大井町駅→渋谷駅)大崎駅下車徒歩1分
- 駐車場  
美術館専用駐車場はございません。  
お車でこま館の場合、「大崎ニューシティ」地下2Fの駐車場(有料)をご利用下さい。

## ○美術館

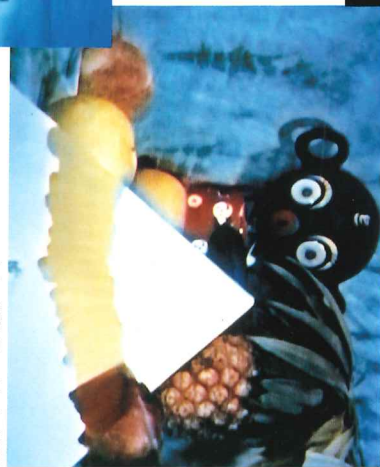
オー美術館：山手線大崎駅東口下車徒歩1分  
東京都品川区大崎1-6-2大崎ニューシティ2号館 TEL. 3495-4040



石田英範「Realtime Baggle Planetu」(1992)



松本正司「時間のあかの時間 (Key Lock-3)」(1979)



小本 章「カラードラック」(1981)



●谷川俊太郎・寺山修司  
「ビデオ・レター」は11月13—25日  
(平日は4:00、土・日は5:00放映)

松本英雄「電子・リザ」(1973)